

幼児教育学科 1年 後期 総合科目

1. 富山コミュニティー論
2. 職業選択と自己実現
3. 生涯スポーツ実技
4. 基礎英語

幼児教育学科

科目名: 富山コミュニティー論			担当教員 氏名: 学科・専攻AD						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	30 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	40 %
特記事項: その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる					【予習】シラバスの確認	【予習】30分			
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①					【予習】計画書の作り方を調べる	【予習】30分			
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
⑤【AD】連携機関との打合せ					【予習】計画書の確認	【予習】60分			
⑥【AD】調査計画の修正									
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①					【予習】計画書の確認と実体験にむけて	【予習】60分			
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②									
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討					【予習】ノートの整理	【予習】60分			
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表) ※1					【予習】発表準備	【予習】60分			
⑬【AD】学習成果のまとめ①					【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分			
⑭【AD】学習成果のまとめ②					【予習】報告書の書き方を調べる				
⑮【全学科】学習成果報告会 1月26日 Uホール					【予習】発表準備 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分			
使用テキスト: 特にありません。					その他参考文献など: 佐藤郁哉: フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる。 社会学やさまざまな領域の文献を探求的に探し参考にしてほしい。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ※1. ボランティア報告会の日時は学科専攻の担当教員からお知らせがあります。 ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指す。									

幼児教育学科

科目名: 職業選択と自己実現			担当教員 氏名: 島原 郁代、清水 朱実						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: キャリアカウンセラーとしての実務経験を活かし、アサーティブコミュニケーションをとり、より多く対話することで、自己理解と他者理解が活発に行える授業を行う。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
今までの自分を振り返り、自己理解を深める中で、自分の自己実現とキャリアデザインに意識を向けていく。また、最近の就職事情について理解を深め、就職活動に必要なノウハウを身につける。						自己理解・他者理解・自己表現・コミュニケーション・自己実現・キャリアデザイン			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8				
A 知識・理解力			自己理解、他者理解ができる。						
D 問題解決力			自分の長所、短所を見つけ、目指す自分に向かって行動していくことができる。						
E 自己管理能力			自分を振り返り、キャリアデザインしていくことができる。						
H コミュニケーション力			言語・非言語両面から、伝えたい自分を表現していくことができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト: 20 %		レポート: 30 %		発表: %		実技試験: %		その他: 50 %	
特記事項: ・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題演習の取組姿勢状況などで評価する。 ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テスト、レポートを行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テスト、レポートを行い、採点し返却する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容		学習に必要な時間(分)				
①【島原】最近の就職事情と就職活動の理解			【復習】就職活動の実践		復習60分				
②【島原】自己理解・他者理解・現代社会・キャリアデザインの理解			【復習】就職活動の実践		復習60分				
③【島原】自己分析①キャリアノート作成			【復習】キャリアノート記入		復習60分				
④【島原】自己分析②(他者からみた自分を知る)キャリアノート作成			【復習】キャリアノート記入		復習60分				
⑤【島原】自己PR、志望動機			【復習】自己PR、志望動機作成		復習60分				
⑥【島原】履歴書作成①			【復習】履歴書作成		復習120分				
⑦【島原】履歴書作成②			【復習】履歴書作成		復習120分				
⑧【島原】「自己理解と自己表現」のまとめ			【復習】自己表現の振り返り、実践		復習60分				
⑨【清水】「音読」文字色の音読テストから始める能力アップ			IT機器多様による脳の衰え→活性化/能活		90分				
⑩【清水】「話し方」ボリュームのある声を作る腹式呼吸			舌年齢の衰え→声の出し方 訓練によるボリューム調節		90分				
⑪【清水】「発声」CDを使った簡単トレーニング			かつ舌の悪さ→解消/耳を鍛える		90分				
⑫【清水】「スピーチパフォーマンス」緊張の原因を探る(姿勢・視線・口調・癖)			スピーチする能力低下→スピーチ力をつける		90分				
⑬【清水】「ロジカルスピーチ」文章の作り方 「敬語」の使い方			敬語苦手意識→社会人として最低限敬語力をつける、課題による文章作成能力をつける		90分				
⑭【清水】「面接必勝法」面接室の扉のノックから実践①			敬語苦手意識→社会人として最低限敬語力をつける、課題による文章作成能力をつける→退室まで実践し、不安を解消する		90分				
⑮【清水】「面接必勝法」面接室の扉のノックから実践②			姿勢・話し方の認識し、ノックから退室まで実践し、不安を解消する		90分				
使用テキスト: 必要に応じて資料を提供します。 就職ガイドブックを使用します。				その他参考文献など: 面接・自己PR・志望動機[完全版]坂本直文著					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自己理解、自己表現に「これは正解」というものはありません。授業で人とかかわりながら、課題や演習により積極的に取り組んでください。「自己表現しながら、自己理解する」のは楽しいと思える授業を一緒に作りましょう。 記号言語(日常の言葉)から身体言語(body language)まで学び、人間関係の結びつきと話の効果を確認しましょう。									

幼児教育学科

科目名: 生涯スポーツ実技				担当教員 氏名: 小川 耕平		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	総合科目	実技	必修	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのよ健康運動指導士として、健康づくりの指導をしていたことから、実践から継続につなげるための意欲の向上 うな授業を行っているか: について重点的に指導するようにしている						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得する。また、集団で活動することでコ ミュニケーション能力の構築も実践する						・生涯スポーツ ・コミュニケーション ・体験学習
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			生涯スポーツに必要な知識について理解する			
D 問題解決力			様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める			
F チームワーク・リーダーシップ			チームメイトと協力して実技を行う			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験: 50 % その他: 50 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 集中講義への参加必須と簡易体力測定による評価						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①オリエンテーション・コミュニケーションゲーム				復習:自らのスポーツ歴について理解する	15分	
②体力測定①(シャトルラン)				復習:体力向上のための目標設定	15分	
③球技①				復習:スポーツ実技の実践	15分	
④球技②				復習:スポーツ実技の実践	15分	
⑤球技③				復習:スポーツ実技の実践	15分	
⑥スポーツキャンプ参加:集中講義 体力づくり				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑦スポーツキャンプ参加:集中講義 体力づくり				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑧スポーツキャンプ参加:集中講義 球技大会				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑨スポーツキャンプ参加:集中講義 球技大会				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑩スポーツキャンプ参加:集中講義 球技大会				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑪スポーツキャンプ参加:集中講義 ウォーキング				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑫スポーツキャンプ参加:集中講義 ウォーキング				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑬スポーツキャンプ参加:集中講義 ウォーキング				復習:スポーツキャンプの感想	15分	
⑭体力測定②(シャトルラン)				復習:体力の変化について確認する	15分	
⑮振り返り				復習:体力を評価する	15分	
使用テキスト: 特になし。				その他参考文献など:運動とスポーツの生理学		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 宿泊型の集中講義があります。10/30(土)、31(日)予定(8コマ分実施します)						

幼児教育学科

科目名: 基礎英語			担当教員 氏名: 廣田 篤		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	総合科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
幼児英語教育の現場で実際に必要な英語運用能力、および英語教授法の体得を目指す。					発音、歌、ゲーム、保育に関する表現、 教材製作
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号) 1. 2. 3. 5. 7. 8.			
A 知識・理解力		基礎的な英語表現を身につけ、幼児教育の現場で必要な英語運用能力を磨く。			
B 専門的技術		幼児が楽しく英語に触れることのできる英語教授法を自分たちで発案し、互いに検討しあい、教授スキルの向上を目指す。			
H コミュニケーション力		英語を実際に話すことに伴う緊張や恐れを克服し、英語コミュニケーション力を磨く。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 45 %	レポート: %	発表: 45 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: 日頃のペアワーク、グループワークへの積極的な参加が求められる(「その他」が平常点で、出席点を含む)。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜採点、返却、コメント、復習のサイクルでフィードバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①授業概要説明、自己紹介、Unit 1 Hi, I'm Yuri Tanaka.			[予習・復習]自己紹介に使われる表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
②Unit 2 Where Is the Multi-purpose Room?			[予習・復習]案内をする際の表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
③Unit 3 Good Morning. How Are You Today?			[予習・復習]登園時の挨拶に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
④Unit 4 What Color Do You Like?			[予習・復習]工作時間の会話に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑤Unit 5 There's a Ladybug on the Leaf			[予習・復習]場所を表す表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑥Unit 6 It's Time to Play Outside			[予習・復習]依頼・注意に関する表現を学ぶ	予習30分 復習30分	
⑦ここまでのまとめ・中間試験の説明・発表題材の決定			[予習・復習]Unit 1-6の範囲の復習	予習30分 復習30分	
⑧中間試験・発表題材の SCRIPT 完成(1)			[予習・復習]Unit 1-6の範囲の復習・試験の見直し	予習30分 復習30分	
⑨答案返却と解説・発表題材の SCRIPT 完成(2)			[予習・復習]試験の見直し・SCRIPT のチェック	予習30分 復習30分	
⑩発表準備(1) 各グループ毎に発表に向けて準備を進める			[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑪発表準備(2) 同上			[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑫発表準備(3) 同上			[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑬発表準備(4) 同上			[予習・復習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑭発表会[前半] 発表と他のグループの発表に対する評価・コメント			[予習]発表の準備	予習30分 復習30分	
⑮発表会[後半] 同上			[予習]発表の準備	予習30分 復習30分	
使用テキスト:『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』土屋麻衣子(2015), 金星堂, 東京. ISBN978-4-7647-4008-2			その他参考文献など:『新・保育の英語』森田和子(2010), 三修社, 東京. ISBN978-4-384-33399-2 C1082 (購入する必要はありません)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 毎回の授業に必ず英和辞書を持参してください(スマホやタブレットは使用不可、電子辞書は使用可。電子辞書は発音の確認にも便利)。授業への積極的な参加(特に、ペアワーク・グループワーク)を期待します。なお、授業中の質問は歓迎です。また、その他の留意点としては、Classroomに随時課題をUPするので、その点数も成績に含みます。					